

# 藤沢市立大清水中学校

## 進路説明会

2023年6月15日（木）

- 神奈川県の公立高等学校では、令和6（2024）年4月に入学する生徒から、公立高等学校の入学者選抜が一部変更となります。（詳細については冊子で説明あり）
- 今後変更等がある場合には、学校だより・学年だより・進路通信等でお伝えしていきます。

## 1. 進路選択にあたって

- (1) 将来を見通した生き方を考える中で進路を考える。
- (2) しっかりとした目的意識を持って進路選択を行う。
- (3) 自分の適性を伸ばすことのできる進路の選択・決定ができるようにする。
- (4) 身体上のこと、持病、通勤通学の距離や時間なども充分考慮して考える。
- (5) 進路先の決定については、高校で実施される説明会や見学会・文化祭などに参加し、学校の様子や雰囲気を知るとよいでしょう。また例年、大清水中学校からよく進学している学校を中心に案内やパンフレットが送られてきます。3年の各教室に置きますので、目を通してください。
- (6) 不正確な情報などに惑わされないように注意してください。不安なことなどは担任に相談することも大切です。
- (7) 学習面と生活面ともに前向きな努力を継続してください。
- (8) 進路決定に関しては保護者と本人が十分話し合いますようお願いいたします。
- (9) 書類等の提出期日はしっかりと守ること。

## 2. 進路指導委員会について

進路指導委員会は校長、教頭、教務、各学年主任、三年職員で構成され、生徒一人ひとりの進路について、さまざまな角度から検討します。担任はそれを受けて生徒・保護者と面談を行います。

中学校における進路指導は、中学校卒業後「どう生きていくか」を決めるために指導・助言を行うものです。決定はあくまで生徒と保護者が行います。担任（進路指導委員会）は、生徒の希望を尊重しながら、進路決定の支援を行います。

## 3. 進路決定までの流れとお願い

- (1) 一年間の見直し
  - 4～7月
    - ・入試制度を理解し、将来の希望について考えます。
    - ・就職や進学について、どのようなところがあるのかを知ります。
    - ・自己理解を深め、自分自身の適性を知ります。
  - 8～12月
    - ・進路の希望を実現するため、弱点を克服し学力の向上を図ります。
    - ・職場や学校の情報を集め（体験教室や説明会等への参加）、自分の進路に生かします。
  - 1～3月
    - ・入学試験、就職試験。

## (2) 主な進路の決定時期

- 高等学校 ・私立学校（推薦・専願・併願）は12月の三者面談で決めます。  
ただし、広域通信制高校では9月頃から募集を開始する学校も多いです。  
・公立高校は1月下旬には決めます。（出願後、志願変更制度あり）
- 特別支援学校・養護学校・インクルーシブ教育実践校  
・6月中に希望調査があるため、希望がある場合（迷っているも含めて）は担任に伝えておく必要があります。
- 専修・各種学校・サポート校  
・体験入学を実施します。9月頃から募集が開始され、募集期間が終了していても定員を満たすとその段階で締め切る学校が多いです。一部の学校では既に受付を始めている学校もあります。
- 職業技術校 ・1月上旬に受付を開始し、下旬には試験があります。
- 就職 ・10～11月頃にハローワークへ行き、職員と就職相談を行い希望する会社を決定して行きます。入社試験は例年1月上旬頃より始まります。

## (3) 進路決定に際して、保護者の皆様へのお願い

- ① 将来への展望を本人と家族がよく話し合ってください。
  - ・本人の興味や適性に合った進路先を選ぶことを第一優先にしてください。
  - ・身体上のこと、通学・通勤距離や時間を十分考慮してください。
  - ・広い視野に立って考え、友達関係のみで進路選択しないよう助言をお願いします。
- ② 情報収集
  - ・説明会や見学会に参加をお願いします。  
興味のある学校は掲載の有無にかかわらずホームページでチェックをお願いします。また、申込不要でも日程変更などの可能性があるため、各校のホームページ等での確認をお願いします。
  - ・中学校からの書類や学校案内等の資料に目を通していただきたいと思います。
- ③ 基本的な生活習慣を身につける
  - ・日頃から規則正しい食生活や睡眠を心がけ、体調管理に気を配ってください。
  - ・遅刻や欠席が続かないよう家庭での生活を整えてください。
  - ・服装や言葉遣いを普段から意識するよう声かけをお願いします。
- ④ 学力アップ
  - ・授業を大切にし、提出物等を期限までにきちんと出せるよう声かけをお願いします。
  - ・短時間でも良いので、家庭学習をする習慣をつけさせてください。
- ⑤ 書類等の提出期日
  - ・進路に関する書類等には必ず目を通し、提出期限を必ず守ってください。

(4) 入試日程

① 神奈川県公立高等学校の入学者の募集及び選抜の主な日程

- 1 共通選抜（全日制の課程、定時制の課程及び通信制の課程）、連携型中高一貫教育校連携募集、海外帰国生徒特別募集、在県外国人等特別募集、インクルーシブ教育実践推進校特別募集及び中途退学者募集

募 集 期 間	令和6年1月24日(水)から31日(水)まで
志 願 変 更 期 間	令和6年2月5日(月)から7日(水)まで (連携型中高一貫教育校連携募集を除く。)
共通検査(学力検査等)の期日	令和6年2月14日(水)
特 色 検 査 及 び 面 接 の 期 日	令和6年2月14日(水)、15日(木)及び16日(金) (連携型中高一貫教育校連携募集は2月15日(木)のみ、イン クルーシブ教育実践推進校特別募集においては、2月15日 (木)及び16日(金)のうち、当該高等学校長の定めた期日)
追 検 査 の 期 日	令和6年2月20日(火)
合 格 者 の 発 表	令和6年2月28日(水)

- 2 定通分割選抜（一部の定時制の課程を除く。）

募 集 期 間	令和6年3月5日(火) 及び 6日(水)
志 願 変 更 の 期 日	令和6年3月7日(木)
共通検査(学力検査等)の期日	令和6年3月14日(木)
特 色 検 査 の 期 日	令和6年3月14日(木) 及び 15日(金)
合 格 者 の 発 表	令和6年3月21日(木)

② 私立高等学校の入学者の募集及び選抜の主な日程

多くの私立高校は 推薦入試 1月

一般入試 2月

今後、各私立高校ごとに募集要項が発表されます。

## 4. 進路の選択肢

(1) 就職 (例年、求人はごくわずか)

① 求人情報の確認

ハローワークから学校へ送られる求人情報の確認。(10月頃)

② 応募書類の提出

就職希望の事業所が決まったら、応募書類をハローワークへ提出。

③ 採用試験

1月上旬から行われます。学科試験を実施するところや面接のみのところもある。

(2) 職業技術学校 (県内2校)

職業技術学校には、工業技術、建築技術、社会サービスの各分野のさまざまなコースがあり、職業に関する技術や技能を習得できます。訓練期間が1年のコースと6ヶ月のコースは、新規に中学校を卒業した人も受け入れています。就職先企業の紹介を受けることができます。

(3) 専修学校 (生蘭高等専修学校・ヨコスカ調理製菓専門学校など、県内十数校)

専門的な技能の育成や教養の向上を図るための学校の中でも、目的や修了年限などの一定の条件を満たした学校をいいます。また、専修学校の中には、通信制高校との技能連携で、高校卒業資格を取れる学校もあります。9月頃から募集を始める学校が多いですが、希望が多いと夏休み前に募集を締め切ってしまう場合もあるので、早めに調べておく必要があります。

(4) 技能連携校・サポート校 (おおぞら高等学院など、県内十数校)

技能連携校・サポート校とは通信制高校と技能連携し高校卒業資格を取ることのできる学校のことです。技能連携校・サポート校に入学するとともにその学校が技能連携している通信制の高校にも同時に入学することになります。9月頃から募集を始める学校が多いです。

(5) 私立高等学校 (鶴沼、藤沢翔陵など、神奈川県教育委員会認可は県内約60校)

各学校が独自の教育方針を持っています。また、学校によっては宗教的な活動を行う場合もあるので、自分の進学を目的をよく考えて選ぶ必要があります。

- ・男女共学校、女子校、男子校があります。
- ・選抜方法は各学校によって異なりますが、基本的には、調査書、自己PR書、入学試験によって合否が決定されます。入試科目は国・数・英の3教科がほとんどですが、学校によって異なります。また、出欠席を重視している学校も少なくありません。
- ・各種検定(英語検定・漢字検定・数学検定等)等の取得状況なども重視する学校(学科)もあります。
- ・学校によっては受験する前に、合格が予想される成績の基準(目安)を示してくれることがあるので、担任とよく相談してください。
- ・多くの学校で推薦試験の制度を取り入れています。時期は、1月下旬から2月上旬に行われます。入試は、作文、面接が主となっています。
- ・学校によっては当日の試験結果のみで合否を判断するオープン入試を実施しているところもあります。
- ・受験料、入学金などは公立に比べると高額になります。

(6) 特別支援学校（市立白浜養護学校・県立藤沢支援学校など）

子どもたちの様々な教育的ニーズに応じたきめ細かい教育を行っています。これらの学校では、子どもたちが、よりよく自立し、社会参加していくために必要な学習を行っています。

(7) 公立高等学校（神奈川県）（藤沢清流・湘南、藤沢西など約160校）

県立と市立の高等学校があります。各学校で特色ある学校づくりが進められているので、よく調べて選びましょう。

〈 課程の違い 〉 ＊学習時間や学習方法などの違いで、次の3つの『課程』に分かれています。

全日制…朝から午後まで授業を行います。修業年限（卒業までにかかる年数）は3年間です。

（藤沢清流、藤沢工科など約140校）

定時制…夕方から夜にかけて授業を行います。また、昼間に授業をする学校もあります。

1日4時間、4年をかけて学び卒業することを基本とします。3年間で卒業できる学校もあります。（湘南、横浜明朋、相模向陽館など約20校）

通信制…教科書を用いた自学自習が基本です。レポートの提出と月2回程度のスクーリング（面接指導）に出席し勉強の仕方や内容について教わります。修業年限は3年以上です。

平日登校してきめ細やかな指導を受けたりITを活用したりして学ぶこともできます。

（横浜修悠館・厚木清南の2校）

〈 学びのしくみの違い 〉

学年制…中学校と同じように、ほとんどの科目をクラスで学び、1年ずつ進級していきます。

単位制…学年の区別がなく、必要な単位数を取得することで卒業できます。単位というのは、一定の学習量を表すもので、50分の授業を1年間に35回で1単位と数えます。

※最近では、単位制でも学年制と近いカリキュラムの高校もあります。

〈 学科の違い 〉

① 普通科・・・共通科目を中心に、高校ごとに特色のある教育を学ぶ学科。

（学年制の普通科は約100校）

普通科の中には、こんな学校も

単位制普通科・・・学年の区分がなく、3年間で必要な単位数を修得することで卒業できます。普通科目を中心に、幅広い分野にわたって設置される特色ある選択科目の中から、自分で科目を選択し、自分の学習計画に基づいた時間割を作ることができます。

（藤沢清流、湘南（定時制）など約20校）

フレキシブルスクール・単位制の仕組みを生かし、一人ひとりの学習ペースに応じて、授業時間を選択できる柔軟なシステムです。

(厚木清南高校、川崎高校など)

多部制定時制高校・・・フロンティアスクール。昼間から学べる定時制高校。

「午前部」または「午後部」に所属して、1日4時間の授業を受けて、4年間（履修の仕方のより3年間も可）での卒業を基本とする、昼間から学ぶことができる定時制高校です。

また、「午前」「午後」「夜間」のどれかに所属して学ぶことのできる定時制高校もあります。

(横浜明朋、相模向陽館、横浜市立横浜総合など)

専門コース・・・・・・・・普通科目に加えて、スポーツや芸術などの特定の分野のコースに関する専門的な科目も学習します。

(現在は横浜市立戸塚高校音楽コースのみ)

クリエイティブスクール・・・

今までに十分な力を発揮できなかった生徒を積極的に受け入れる高校。入学者選抜では調査書の評定を用いず観点別学習状況を活用し、学力検査を行わず、学ぶ意欲を重視した総合的選考を行います。

(大和東高校・田奈高校など)

インクルーシブ教育実践推進校・・・

知的障がいのある生徒が高校教育を受ける機会を広げながら、すべての生徒が共に学び相互に理解を深める教育に取り組む高校です。

(変更点あり)

- ② 専門学科・・・将来のスペシャリストとして必要な専門的知識・技術の基本を身につけるため、普通科目に加えて、専門科目を学習します。また、専門的な学習を通して、様々な資格を取得することができます。専門学科には、農業・水産・工業などに関する分野があり、さらにそれぞれ小さな学科を持っています。

(藤沢工科など約30校)

- ③ 総合学科・・・普通科目と専門科目の両分野にわたって設置された特色ある科目から、自分で科目を選択して、単位制の仕組みによって学びます。自分の個性・適性を発見し、将来の進路を考える学習や、体験的な学習、実習を重視した授業を展開します。

(藤沢総合など約20校)

## 5. 神奈川県公立高等学校入学者選抜について

### (令和6(2024)年入学選抜変更について も含む)

神奈川県の公立高校では、全日制・定時制・通信制の3つの課程で一斉に行う「共通選抜」と、その後定時制と通信制のみの入試を行う「定通分割選抜」があります。

#### ○「共通選抜」 ・ ・ 全日制の課程では、定員の100%を募集します。定時制の課程及び通信制の

課程では、定員の80%を募集します。(※横浜明朋高校、厚木清南高校等一部除く)

出願 志願できる高校は1校1課程の1学科・コース・部のみです。  
出願期間終了後、募集状況の発表があり、指定期間内に1回に限り志願変更ができます。

今年度より、神奈川県公立高等学校でインターネット出願システムの利用が始まります。詳しくは神奈川県教育委員会から発表になりましたら、随時お知らせします。

検査 全日制では国数英社理の5教科の学力検査。定時制では国数英の3教科の学力検査を実施します。なお、各高等学校の必要に応じて、特色検査（実技検査・自己表現検査及び面接又はそのいずれかを実施）を行う学校をあります。  
学力検査ではマークシート方式と記述式の問題があります。  
感染症の罹患等で学力検査が受検できなかった場合、追検査あり。

選考 1次選考で募集定員の90%を決め、2次選考で残りを決める2段階方式です。

発表時 合格発表は、出願システムで行います。

〈選抜材料〉

1. 調査書
  - ・ 2年9科の評定 (/45) + 3年9科×2 (/90) = /135
  - ・ 3教科までの2倍を限度として重点化可。
  - ・ 参考事項と特記の廃止。英検3級などの効力なし。
  - ・ 中学校時代の活動の経歴や役職、大会等の記録、各種資格の取得等、活動実績の点数化の廃止。
2. 学力検査
  - ・ 基本的に5教科（定時制は国数英の3教科。通信制は実施しない）。
  - 各100点満点。



3. 特色検査 ・特色検査（実技検査、又は自己表現検査及び面接）を実施する高校あり。  
その場合、学力検査を3教科まで減じることができる。

※面接は特色検査に位置付けとなり、必要な高等学校、学科等が実施する。

〈選抜方法〉

- \*第1次選考 → 募集人員の90%まで、調査書の評定（2・3年）と学力検査の結果をもとに定められた数値算出の方法で選考。
- \*第2次選考 → 定員の10%。実施した学力検査と調査書の各教科における第3学年の「主体的に学習に取り組む態度」の評価をもとに定められた数値算出の方法で選考。

○「定通分割選抜」・ 定時・通信制で定員の20%、共通選抜の募集人員を差し引いた人員の募集。

- 〈選抜材料・方法〉 定時制 → 調査書の評定（2・3年）と実施した学力検査により選考。  
通信制 → 調査書と実施した検査をもとに総合的に選考。

○二次募集・ 欠員がある場合、必要に応じて実施します。

学力検査(3教科)を実施し、特色検査のうち面接を実施する場合があります。  
調査書と実施した検査の結果を基に総合的に判断します。  
公立や私立のどこかの学校に合格している場合は、二次募集があっても受けることはできません。（手続きし忘れて合格した高校に進学出来ない場合も）

※定通分割選抜の実施時期を数日間繰り下げ、共通選抜の二次募集の結果を確認してから定通分割選抜の検査を受検できるようになるため、定通分割の二次募集は実施しません。

二重線が引かれている部分が、令和6（2024）年入学選抜制度の一部変更点です。  
くわしくは別紙をご覧ください。

～ 公立高校入学者選抜の「選考基準」及び「特色検査」の概要について ～

令和6年度神奈川県公立高等学校入学者選抜選考基準及び特色検査の概要が6/9に掲載されました。

なお、3年生向けに7月配布する「公立高校募集案内」にも掲載されます。

[https://www.pref.kanagawa.jp/docs/dc4/nyusen/nyusen/senko\\_ki\\_jun.html](https://www.pref.kanagawa.jp/docs/dc4/nyusen/nyusen/senko_ki_jun.html)



## 6. 私立高校等の専願・併願について

〈専願（単願）受験〉

- ・私立高校、高等専修学校のみ1校を受験すること。  
私立高校、高等専修学校のみ1校で受験する場合、併願受験より有利になる場合が多い。

〈併願受験〉

- ・公立高校と私立高校（高校・専修学校・専門学校）を複数校受験すること。
  - ◎公立高校が第一志望の場合 私立高校が第二希望の時
    - ・予め私立高校側に、第二希望であることを知らせます。
    - ・私立高校に合格した場合、必ず手続きの再確認をお願いします。  
公立高校の発表まで入学金等を全額待ってくれる学校・一部を納めないといけない学校があります。なお、延納手続きの必要な学校がありますので注意してください。
    - ・併願校は、第一志望に合格できなかった場合には、実際に進学する学校なので、よく調べて自分にあつた学校を選んでください。
    - ・専願の場合よりも示される基準が高い場合が普通です。

◎私立高校が第一希望の場合

- ・公立と私立に両方合格してから考えるということはありません。  
第一希望の私立に合格した場合は、速やかに公立高校の辞退届を高校に提出しなければいけません。

## 7. 進路関係の年間予定

6月の進路希望調査をふまえて、7月の三者面談である程度の方向性を出していきます。その後、10月の進路希望調査と三者面談で具体的な進路先を出していきます。また、10月には職業安定所によって職業相談も行われます。次に11月の第3回進路希望調査に基づいて、12月の三者面談で希望を決定します。12月の三者面談での希望決定に向けては、面談期間でなくても必要があれば生徒と担任、担任と保護者などで面談を行います。

その他に、専修学校・サポート校を受けようとする生徒は早い段階で決定していくことになります。進路の多様化によって、決定時期も個人個人で違いがでてきています。

「養護学校」・「特別支援学校」については6月の段階で進路の選択肢として希望する必要があります。

### 〈3年生の進路に向けて〉

\*変更になる場合もあります。

日付	学校行事など	試験	進路関係
6/12 月			進路希望調査1配布
13 火			進路説明会1案内提出
15 木			進路説明会1
22 木		3年実力テスト1	
23 金			進路希望調査1提出
7/11 火	三者面談開始		
18 火	三者面談終了		
19 水			進路説明会2案内配布
20 木	全校集会(夏休み前最終)		
8/31 木	全校集会(夏休み明け再開)		進路説明会2案内提出
9/4 月			進路説明会2
6 水		前期期末試験	
7 木		前期期末試験	
8 金		前期期末試験	
20 水		3年実力テスト2	
22 金	清流祭		
10/2 月			進路希望調査2配布
6 金	前期終業式		成績配布
11 水	後期始業式		進路希望調査2提出
19 木	合唱コン		
23 月	3年三者面談開始		
30 月	3年三者面談終了		
11/7 火		3年後期中間試験	
8 水		3年後期中間試験	
9 木		3年後期中間試験	
10 金			進路希望調査3配布
21 火			受験(検)写真⑥
22 水			3年成績配布
24 金			進路希望調査3提出
12/1 金	3年三者面談開始		
7 木	3年三者面談終了		受験(検)校確認票
15 木		3年実力テスト3	
22 金	全校集会(年内最終)		

日付	学校行事など	試験	進路関係
1 / 9 火	全校集会(年明け再開)	3年学年末テスト	進路面談(希望者) 公立出願校決定 私立推薦入試 公立募集開始 公立募集終了 公立募集終了 志願変更開始 志願変更終了 私立一般入試 公立共通選抜 公立発表
1 1 木			
1 5 月			
1 6 火			
2 2 月			
2 4 水			
3 1 水			
2 / 5 月			
7 水			
1 0 土			
1 4 水			
2 8 水			
3 /			
卒業式			

## 8. 昨年度の進路先一覧表

### ○公立

〈普通科〉 希望ヶ丘 光陵 鎌倉 七里ガ浜 大船 深沢 湘南(全) 藤沢西 湘南台 茅ヶ崎 茅ヶ崎北陵 鶴嶺	茅ヶ崎西浜 平塚江南 高浜 厚木 厚木北 大和南  〈普通科クリエイティブ スクール〉 大和東	〈専門学科〉 藤沢工科 平塚農商 神奈川工業  〈単位制総合学科〉 藤沢総合	〈単位制普通科〉 藤沢清流 横浜青陵 小田原 横浜修悠館(通)  〈単位制専門学科〉 相模原弥栄 横浜国際  〈他県〉 埼玉県立高校
--	--	--	---

## ○私立

〈横浜・川崎方面〉 橘学苑 横浜 山手学院 横浜隼人 桐蔭学園 桐光学園	〈藤沢・鎌倉・茅ヶ崎方面〉 鎌倉学園 鎌倉女子大学 鵜沼 湘南工科大附属 日大藤沢 藤沢翔陵 アレセイア湘南	〈横須賀・三浦方面〉 三浦学苑 緑ヶ丘女子  〈県央・西方面〉 相模原女子 光明相模原 東海大相模原 平塚学園 旭丘 相洋 柏木学園	〈東京方面〉 サレジオ高専  〈他県〉 同志社  〈広域通信・サポート〉 第一学院湘南
--	---	---	--

## 9. 学費（目安）

(1) 私立の高等学校・専修学校の場合（高等専修学校で通信制高校と連携すると別途費用が必要）

受験料	20,000円～30,000円
授業料	月額25,000円～45,000円
入学金・施設設備費など	30万円～40万円

併願で受ける場合、私立高校合格発表後に入学金や施設設備費の一部を納入し、残りを公立高校の合格発表まで待ってくれる学校も多いですし、最近は全額待ってくれる学校もあります。そのほかに私立高校では、特待生として授業料などの免除（または一部免除）にする制度もあります。（併願であっても特待生を設ける学校も出てきています）

(2) 神奈川県立高校の場合（※令和5年度入学生）

	全日制	定時制	通信制
受検料	2,200円	950円	無料
入学科	5,650円	2,100円	無料
授業料（年額）	118,800円	32,400円	1単位350円

（登校履修は700円）

(3) 学費支援制度

国からの「高等学校等就学支援金」と神奈川県からの「私立高等学校等生徒学費補助金」があります。別紙資料の神奈川県作成の「学費支援」のお知らせをご覧くださいと思います。

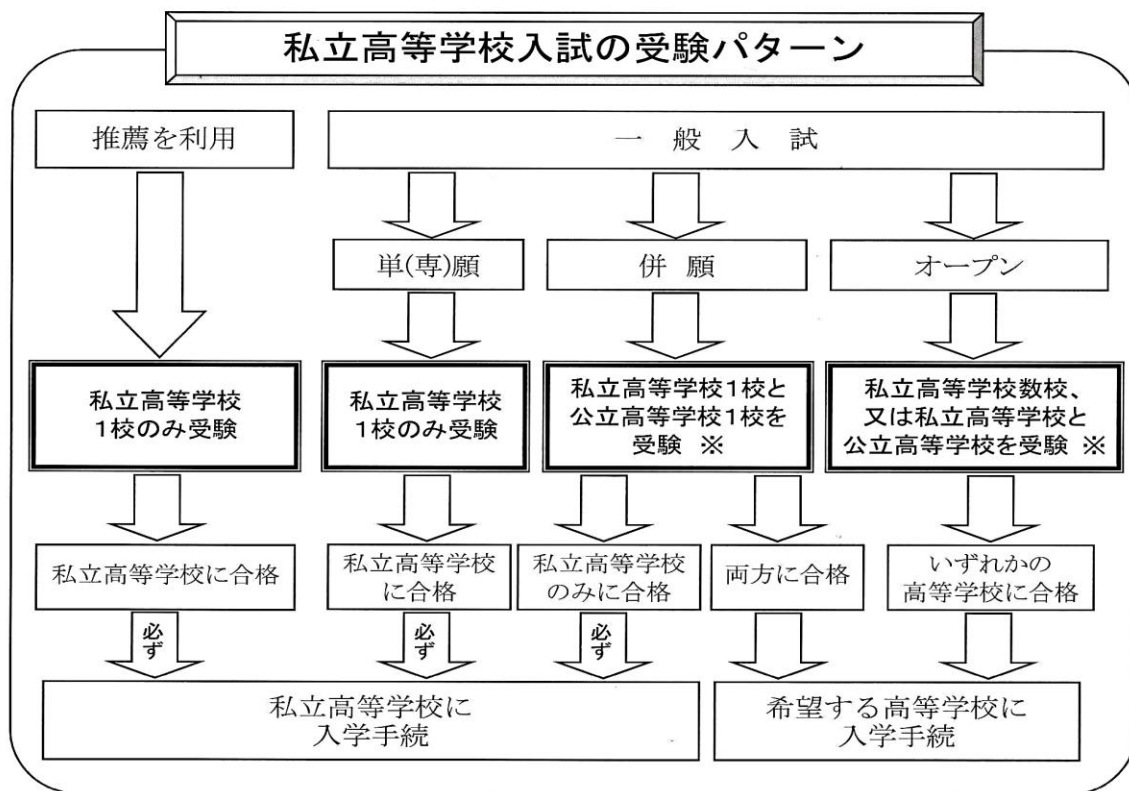
# 資料1 県内私立高等学校入学者選抜の概要

昨年度の神奈川県公立高等学校入学者選抜の募集案内より

## 12 県内私立高等学校入学者選抜の概要

入学者の選抜方法		学力試験	受験校と併願校	試験日	入学手続き日	中学校校長推薦
推薦入試	推薦	原則なし	私立1校のみ受験可	1月22日(日)以降	合格発表日以降に各高等学校が設定	必要
	単(専)願	あり	私立1校のみ受験可	2月10日(金)以降	合格発表日以降に各高等学校が設定	無
	併願	あり	私立1校のみ受験 公立共通選抜併願可		入学金以外の納入金の締切日は、公立共通選抜の合格発表の翌日(3月1日(水))以降に各高等学校が設定	無
オープンなど	あり	私立・公立とも併願可	無			

※ 上記はあくまで原則ですので、試験日、入学手続き日などは、各高等学校の募集要項を確認してください。



※ 公立高等学校の受験上の注意については、10ページを参照してください。

資料2 調査書の例 昨年度の神奈川県公立高等学校入学者選抜の募集案内より

6 調査書の見本

中学校での学習の成果が記載されます。

調査書には、中学校第3学年の12月末までの内容が記載されます。

中学校での様々な活動の状況や成果が記載されます。

第11号様式		様式見本		調 査 書				※ 受験番号	
志願先 高等学校	〇〇〇〇	立	〇〇〇	高等学校					
	〇〇	科		(コース・部)					
学籍の記録	フリガナ	〇〇〇〇	〇〇〇〇	性別		入学年月	平成・令和〇年 4月	〇〇〇〇	中学校
	氏名	〇〇	〇〇		〇		第 学年		入学編入学
	生年月日	平成 〇〇年 〇月 〇日	日生			転入学年月	平成・令和 年 月		中学校
	現住所	〇〇市〇〇町 〇〇丁目〇番〇号 〇〇マンション〇〇					第 学年	転入学	
				卒業年月	令和 〇年 3月 同 中学校			卒業見込、卒業	
各教科の学習の記録				総合的な学習の時間の記録					
科目	観点別学習状況		2年		3年		学年	学習活動の内容	活動状況及び所見
			評価	評定	評価	評定			
国語	知識・技能	A		B		2年	身近な環境問題について考える。	身近な環境問題として、プラスチックごみによる海洋汚染の現状とそれが生体に与える影響について、地域に在住する外国人の人々へのインタビューをもとに、それぞれの国の文化や、日本で暮らして感じていること等をまとめ、発表した。	
	思考・判断・表現	B	4	B	3				
	主体的に学習に取り組む態度	A		B					
社会	知識・技能	B		A		3年	地域に住む様々な国の人々を知る。	総合的な学習の時間での具体的な活動の取組み等が記入されます。	
	思考・判断・表現	B	3	B	4				
	主体的に学習に取り組む態度	B		A					
数学	知識・技能	B		B		2年			
	思考・判断・表現	B	2	B	3				
	主体的に学習に取り組む態度	B		B					
理科	知識・技能	A		A		5年			
	思考・判断・表現	B	4	A	5				
	主体的に学習に取り組む態度	A		A					
音楽	知識・技能	B		B		4年	国語係 (1年) 旅行委員 (2年) 美化委員 (3年) 文化祭実行委員 (3年) 柔道部 (1~3年)	中学校3年間での主な特別活動(学級活動・生徒会活動・学校行事)と部活動の所属が記入されます。	
	思考・判断・表現	B	3	A	4				
	主体的に学習に取り組む態度	B		A					
美術	知識・技能	B		B		4年			
	思考・判断・表現	A	4	A	4				
	主体的に学習に取り組む態度	A		A					
保健体育	知識・技能	A		A		5年	委員会活動や学校行事において、常にリーダーシップを発揮し活躍した。特に、3年次には美化委員として清掃活動に積極的に取り組んだ。柔道部では、目立った実績はないが、部長として部員をよくまとめた。また、思いやりの気持ちにあふれており、友人からの信頼も厚い。	中学校3年間を通じて、学校生活全般にわたる行動の状況や優れた活動等について、具体的な事実をもとに記入されます。	
	思考・判断・表現	A	5	A	5				
	主体的に学習に取り組む態度	A		A					
家庭・技術	知識・技能	A		A		5年			
	思考・判断・表現	A	5	A	5				
	主体的に学習に取り組む態度	A		A					
(英語)	知識・技能	A		A		4年			
	思考・判断・表現	B	4	B	4				
	主体的に学習に取り組む態度	A		A					
小計 ※									
					(×20)				
						令和〇年〇月〇日			
						中学校名 〇〇〇 中学校			
						校長氏名 〇〇 〇〇 <span style="float:right">印</span>			
						記載者氏名 △△ △△ <span style="float:right">印</span>			

各教科の観点別学習状況の評価が3段階で記入されます。

12月末までの第3学年の各教科の総合的な評定が5段階で記入されます。

第2学年の学年を通じた、各教科の総合的な評定が5段階で記入されます。

◇ 2年生、3年生のときの評定が5段階の目標に準拠した評価(いわゆる絶対評価)であれば、私立中学校または県外の中学校出身であっても、神奈川県公立中学校出身者の評定と同等に扱われます。

### 資料3 公募を行う県内私立高等学校一覧

昨年度の神奈川県公立高等学校入学者選抜の募集案内より

#### 公募を行う県内の私立高等学校一覧

所在地	学 校 名	課程 学科	男 女	問合せ先	所在地	学 校 名	課程 学科	男 女	問合せ先		
横 浜 市	鶴見区	白 鷗 女 子	普	女	045-581-6721	川 崎 市	多摩区 日本女子大学附属	普	女	044-952-6711	
		聖 ヨ ゼ フ 学 園	普	女	581-8808		麻生区 桐 光 学 園	普	共	987-0519	
		橘 学 苑	普	共	581-0063	相 模 原 市	中央区 麻布大学附属	普	共	042-757-2403	
		鶴見大学附属	普	共	581-6325		南区	相模女子大学	普	女	742-1442
		法政大学国際	普	共	571-4482			(光明学園)相模原	普	共	778-3333
	神奈川区	横浜創英	普	共	421-3121	東海大学付属相模	普	共	742-1251		
		捜真女学校	普	女	491-3686		横須賀市 湘南学院	普	共	046-833-3433	
	南区	関東学院	普	共	231-1001	三浦学苑	普・工技	共	852-0284		
	保土ヶ谷区	横浜清風	普	共	731-4361		緑ヶ丘女子	普	女	822-1651	
	磯子区	横浜学園	普	共	751-6941		横須賀学院	普	共	822-3218	
	金沢区	関東学院六浦	普	共	781-2525	平塚市 平塚学園	普	共	0463-22-0137		
			横 浜	普	共	781-3396	鎌倉市	鎌倉学園	普	男	0467-22-0994
		横浜創学館	普	共	781-0631	北鎌倉女子学園		普・音	女	22-6900	
	慶應義塾	普	共	566-1381	鎌倉女子大学	普		女	44-2113		
	港北区	英理女子学院	普	女	431-8188	藤沢市	鶴 沼	普	共	0466-22-4783	
		日本大学	普	共	560-2600		湘南工科大学附属	普	共	34-4114	
		武 相	普	男	401-9042		日本大学藤沢	普	共	81-0123	
		清心女子(通)普	女	421-8864	藤嶺学園藤沢		普	男	23-3150		
		山手学院	普	共	891-2111		藤沢翔陵	普・商	男	81-3456	
	栄区	秀 英(通)普	男	806-2100	小田原市	旭 丘	普・総	共	0465-24-2227		
	旭区	横浜商科大	普・商	共		951-2246	相 洋	普・商	共	22-0211	
		星 槎 注5(全・通)普	共	442-8686	茅ヶ崎市 アレセイア湘南	普	共	0467-87-0132			
		横浜富士見丘学園	普	共	367-4380	逗子市 聖和学院	普・英	女	046-871-2670		
	緑区	横浜翠陵	普	共	921-0301	厚木市 厚木中央(通)普・工	共	046-221-5678			
	瀬谷区	横浜隼人	普・国	共	364-5101	大和市	柏木学園	普	共	046-260-9011	
	青葉区	桐蔭学園	普	共	971-1411		聖セシリア女子	普	女	275-3727	
	都筑区	中央大学附属横浜	普	共	592-0801	伊勢原市 向 上	普	共	0463-96-0411		
川 崎 市	中原区	大西学園	普	共	044-722-9201	松田町 立花学園	普	共	0465-83-1081		
		家 女	女			箱根町 函嶺白百合学園	普	女	0460-87-6611		
		法政大学第二	普	共	711-4321						

この一覧は令和4年4月現在のものです。

変更になることがありますので各高等学校にお問い合わせください。

注1 県内の高等学校でも公募を行っていない高等学校は掲載していません。

注2 課程学科欄の「(通)」は通信制、「(全・通)」は全日制及び通信制、それ以外はすべて全日制です。

注3 課程学科欄の「普」は普通、「商」は商業、「国」は国際語、「家」は家庭、「音」は音楽、「工技」は工業技術、「総」は総合、「英」は英語、「工」は工業の各学科です。

注4 中学生の卒業後の進路としては、この一覧のほか、専修学校の高等課程などがあります。

注5 星槎高等学校については、入学資格として、教育上特別な配慮が必要であること、不登校あるいは不登校傾向にあると認められることが必要です。

#### 募集定員・学費など

入学資格、募集定員、学納金については、各高等学校に直接お問い合わせください。